

英文科目名称：

| | | | |
|-------------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 1stQ & 2ndQ | 1年 | 2単位 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 山下 弘 | | | |
| | | | |

| | |
|----------|--|
| 講義概要 | 「日本語能力試験1～2級」の合格力めざして、「文字・語彙・読解・文法」等のオールランドな分野の日本語力を、できるだけ早急に高めていくことを主眼とする。主体的な学習態度・活発な質疑大歓迎。 |
| 授業計画 | <p>1 オリエンテーション 授業および日本の習慣など 早期に取り組みやすくするための必要事項にふれる。</p> <p>2 演習① 初級段階の日本語の習得度を確認し基礎的な内容から始める。</p> <p>3 演習② 平易な内容の教材で語彙・文法を学習。</p> <p>4 演習③ 前項目の内容に、語彙力を養成するために、小学低学年用教科書から入って様子をみたい。</p> <p>5 演習④ 「演習③」を補強、進展させる。「書く」力も養成したい。(単語レベル)</p> <p>6 演習⑤ 前回同様の内容ながら、初歩的なつまずきを防いでいきたい。</p> <p>7 演習⑥ 基礎内容の充実に力を入れる。</p> <p>8 演習⑦ Term Exam に向けての復習</p> <p>9 演習⑧ 使い慣れつつある教材の持続使用とともに、新聞記事、随筆物などとりいれてみたい。</p> <p>10 演習⑨ できれば、テーマをあたえての文を書き、発表の場を設けたい。</p> <p>11 演習⑩ 平易な教材の使用と、易しい内容の読み物(新聞記事、随筆物)を扱う。</p> <p>12 演習⑪ 「演習⑩」の継続学習</p> <p>13 演習⑫ 演習⑩の継続学習</p> <p>14 演習⑬ 演習⑩の継続学習</p> <p>15 2nd Term Exam に向けての復習</p> |
| 授業形態 | 選択 |
| 到達目標 | <p>① 普段の生活で、おおまかな意思疎通がとれる聴解の能力を養う。</p> <p>② おおよそ必要とされる基本的漢字、カタカナ、ひらがななどで表記される内容がほぼ理解できる。</p> <p>③ 日本人特有の感覚を察知できる。(講義の気持ちなど)</p> <p>④ 自分の言いたいことを、表現して発言できる。</p> <p>⑤ 日本人学生との会話が楽しめる。</p> |
| 評価方法 | 受講中の積極的態度を重視し、小テストおよび本試験などによる |
| 評価基準 | 定期試験(50%)、学習態度(20%)、小テスト(30%) |
| 教科書・参考書 | テキスト：最初の授業で指示する。 |
| 履修条件 | |
| 履修上の注意 | |
| オフィスアワー | 授業の前後で対応します。 |
| 備考・メッセージ | |

英文科目名称：

| | | | |
|-------------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 1stQ & 2ndQ | 1年 | 2単位 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 福元 美和子 | | | |
| | | | |

| | |
|------|--|
| 講義概要 | <p>日常のさまざまな場面で必要となる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、日常会話だけではなく、新聞や短い読み物を読んで、理解できたことを人に伝える力も身につけるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。</p> |
| 授業計画 | <p>1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布</p> <p>2. いろいろなあいさつ ①自己紹介 ②日本のあいさつと自国のあいさつ・ジェスチャー ③教室での日本語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>3. 買い物に行ったら ①洋服・家電など、買い物をする際に必要な日本語 ②ネットショッピングに必要な日本語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>4. もし道を聞かれたら？ ①道順の尋ね方と答え方 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>5. レストランで（食文化について） ①日本の食文化と自国の食文化 ②レストランでのいろいろ 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>6. もしも病気になったら ①病院で受診するときの日本語 ②病状を表現する日本語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>7. 日本の住居事情 ①間取りを説明する ②友人の家を訪問したときの日本語 ③日本の住居と自国の住居について 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>8. 職場の日本語 1 ①レストランやコンビニ、スーパーなどではどんな日本語が使われているか調べて、グループで話し合い、グループ毎に発表する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>9. もし旅に出るなら？ 1 ①歴史と文化の町 京都へ旅に出てみよう！（※テキスト13課） ②日本で行ってみたい街について話す。旅行計画を立てる 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>10. もし旅に出るなら？ 2 ①友人へ自分の故郷のおすすめプランを紹介する ②自国のおすすめの観光スポットを紹介する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>11. 職場の日本語 2 ①さまざまな職業の日本語名を確認する ②子供のころなりたかった職業について話す ③やってみたい仕事について、なぜ働いてみたいのか、その仕事について知っていることについて話す 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>12. 職場の日本語 3 ①基本の敬語を確認 ②接客に必要な敬語を知る（1） — ホテルでの日本語を中心に 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>13. 職場の日本語 4 ①接客に必要な敬語を知る（2） — ホテルでの日本語を中心に 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>14. 職場の日本語 5 ①職場でのウチとソトの敬語 ②職場の日本語の振り返り 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>15. 授業のまとめ ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 — プリントを配布</p> |

| | |
|----------|--|
| 授業形態 | 演習 |
| 到達目標 | ①既知の文法や語彙を日常会話の中で適切に使うことができるようになる。 ②基本的な敬語を使って話し、相手の話しを理解することができる。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を身につける。 ④基本的なプレゼンテーションや簡単なスピーチができる。 ⑤日本語能力試験やギャップイヤー等、自らの目標に向かって必要となる日本語会話力を身につける。 |
| 評価方法 | 授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験 |
| 評価基準 | 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50% |
| 教科書・参考書 | 教科書『まるごと 日本のことばと文化』（2014）三修社 |
| 履修条件 | |
| 履修上の注意 | |
| オフィスアワー | 授業の前後で質問等を受け付けます |
| 備考・メッセージ | |